

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		小学校ICT整備推進事業						予算事業名		校内通信ネットワーク整備事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令							
				10	02	03	2003	経常経費								
総合計画体系		未来を担う子どもと 生き生きとした市民を育む地域を目指そう						事業の区分		主要事業						
		地域への愛着と誇り、「生きる力」を育む教育環境づくり								重点事業						
		学校教育の実践						担当課係等		学校教育課						
										施設係						
事業期間		継続 (令和 4年度～ 年度)														
【めざす姿 (意図・どのような状態になるのか)】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】									
・ネットワークを活用した学習を行うことで、従来の学校教育では実現できなかった広がりを持った教育を実現する。また、教職員への支援としてGIGAスクール運営支援センター及びICT支援員を配置することにより、整備された機器を最大限に活用した授業を展開する。							文部科学省主導による「教育のICT化に向けた環境整備5ヶ年計画 (2018～2022)」の実現。									
【手段 (事業内容・どのようなことを行うのか)】							【対象 (だれに対して・何に対して行うのか)】									
・ICT支援員配置委託 (R3～) 9校 授業計画の作成支援、ICT機器の操作、保守支援、研修支援等 ・GIGAスクール運営支援センター委託 (R4～) 9校 端末等の使用マニュアル・ルールの作成及び改訂、職員研修の実施、アカウント管理等 ・教職員パソコン賃借 ・コンピューター教室用機器賃借 R5.9月賃借満了まで ・フィルタリングソフト更新(ライセンス期間3年R7.4月初旬まで) ・無線LAN整備 R6 特別教室LAN整備 (城南小、結城西小、城西小)							児童及び教職員									
							【事業をとりまく環境の変化】									
							1人1台端末を整備したことによる、教職員のスキルアップ及び授業支援、機器のメンテナンス等の支援員の配置。									
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】								
・ICT支援員配置委託 ・GIGAスクール運営支援センター委託 ・教職員パソコン賃借 ・コンピューター教室用機器賃借 ・校務支援システム賃借 ・電子機器、学習用ソフト等導入 ・賃借満了教職員パソコン処分(180台)				・ICT支援員配置委託 ・GIGAスクール運営支援センター委託 ・教職員パソコン賃借 ・校務支援システム賃借 ・電子機器、学習用ソフト等導入 ・フィルタリングソフト更新 ・特別教室無線LAN整備				・ICT支援員配置委託 ・GIGAスクール運営支援センター委託 (R7より国庫補助金なし) ・教職員パソコン賃借 ・校務支援システム賃借 ・電子機器、学習用ソフト等導入 ・タブレット端末更新実施設計委託								
■事業費																
				R03年度		R04年度										
財源内訳	国庫支出金			4,642		1,737										
	県支出金			0		0										
	地方債			0		13,800										
	その他			0		0										
	一般財源			63,303		75,584										
歳入計 (千円)				67,945		91,121										
歳出内訳	節 (番号 + 名称)				金額 (千円)		金額 (千円)									
	10	需用費			730		1,528									
	11	役務費			291		856									
	12	委託料			2,195		25,987									
	13	使用料及び賃借料			43,320		44,326									
	14	工事請負費			21,409		18,424									
歳出計 (千円) (A)				67,945		91,121										
伸び率 (%)						34.10										
備考																

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	タブレット整備校数	校	目標	9.00	9.00	9.00
	タブレットを活用した授業展開		実績	9.00	0.00	0.00
	校内無線LAN整備	校	目標	9.00	1.00	0.00
	インターネット環境整備の実施		実績	9.00	0.00	0.00
成果 指標			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	学習能力の向上及び教育環境整備のため必要である。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	セキュリティ対策、情報の保守管理により行政以外には実施できない。
	手段の妥当性	A 妥当である	国の提案するGIGAスクール構想に準じた展開を実施。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	担当者にはICT専門の知識が必要であり、市情報管理部門及び学校との連携が必要である。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	計画に基づき実施している事業ではあるが、規格や性能、運用方法に偏りがあるのではと思われる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	ICT支援員配置により機器トラブルの解消、アプリ使用の指導等により授業でのタブレット活用が向上した。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	教職員により活用頻度の差があるため、スキルアップ向上が求められる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
ICT機器の活用は進んでいると思われるが、導入されている電子教材の活用については学校間での格差や児童に教える立場である教職員の格差があると思われる。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
教職員へのスキルアップ研修の実施や他校のICT活用状況などの情報共有を図るなど、学校単位ではなく結城市全体として取り組むようにする。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 G I G A スクール構想実現のためのハード部分については概ね整備が完了したので、今後は利用面ソフト面を充実させていきたい。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	